

「緊急代表者会議」開催！

TOKYO MAIL NEWS	TOKYO MAIL NEWS	TOKYO MAIL NEWS	TOKYO MAIL NEWS    送付サービス別冊 東京地本 No. 334 / 2024.7.12
交渉ダイジェスト 7月12日 「首都圏本部に さらなる実現 (東京統括セン	交渉ダイジェスト 7月11日 「首都圏本部に さらなる実現 (池袋統括セン	交渉ダイジェスト 7月12日開催 東武 柔軟な働き方のできる 申し入れ内容は、右記の QR コードから確認できます。	交渉ダイジェスト 7月11日開催 東地串第6号「首都圏本部における 柔軟な働き方のさらなる実現」に関する説明申し入れ (上野統括センター) 申し入れ内容は、右記の QR コードから確認ができます。 各 QRコードの情報は、随時「毎日新聞」に掲載されます。
交渉ダイジェスト 詳細は、後日発行の「TOKYO MAIL NEWS」をご参照下さい。 ✓ 回答ならざる回答がこれまで各職場で自らができているか ✓ 10月から大規模な出向センターになれば、乗務員の出勤数も各営業所統括センターの内運輸地区の期間を確保するが、衛生管理者の選任は拒否変更の考え方、管理区分の見直し議論があったこと ✓ 拒否の名前は統括事務の体制には賛同し、育児介護労働者などエリアユニットの	交渉ダイジェスト 詳細は、後日発行の「TOKYO MAIL NEWS」をご参照下さい。 ✓ 10月以降大きく今施策の目的。その管理やワークイン制による影響についてこれまでも順調に増え続けているが、統括センター化は池袋営業統括センタージョブローテーション否定できないが、その他時間は必要ない要素は提供しない	交渉ダイジェスト 詳細は、後日発行の「TOKYO MAIL NEWS」をご参照下さい。 ✓ 統括センター新設の系統の壁がないか、効率化を人的に統一した体制の人材と設備の考え方に異議を示さない ✓ これらことから各営業所に教育に関する必要な要員は確保される。休日活動は少中野営業統括センター理由は、コミはトヨタバシラしたがターの相違として首都圏本部として業務区所の行路や管理者を学内で中野営業区間の面談に確認したところ	交渉ダイジェスト 詳細は、後日発行の「TOKYO MAIL NEWS」をご参照下さい。 首都圏本部としての回答が示されず、極めて不誠実と言わざるを得ない！ 会社の主張 - 具体的な業務はWGで決まっていくな。回答できる業務内容は持ち合わせていない。成果になっていない。 - WGは職場の代表に選んでもらっている。行路や作業ダイヤにとられない業務に取り組み。乗務員が就業時に、その時間に就業場所を担当。全社員が対象。どのように進めていくかは WG で決定していく。10月のスタートですべて完成形であるわけではない。 - 会社回答「出向条件作業ダイヤ」「職場ごとに作業実施があり、会社として、その作業ダイヤで出向数を調整。出向人数は会社の判断として個別に指示する考えはない。統括センター施策は要員問題のためには必要ない。拒否することの要員管理をしてほしい。」 - 上野営業統括センターについては致命的な課題はない。組織が大きすぎる欠陥はない。 - 就業場所担当は社員が優等列車の車内改札を行うこと。乗務経験のある駅担当者担任社員の相互運用の可能性はある。 - E田・DLは2024年で廃止計画である。田園オフィス・尾久駅の入換がすべてなくなるわけではない。 - 育児・介護労働者がコミュニケーションをとりながら生活設計を考慮して運用する。指揮命令系統は異常時についても明確になるように進めていく。 9項の回答の文面と口頭の回答に違いがあるため、修正回答を求める！ 首都圏本部としての考えを一括表示。一般論を繰り返し、十分な説明をしない首都圏本部に対して、不誠実であると警告！

東京地本は7月14日、10月に設立される4統括センターに関する団体交渉について「緊急代表者会議」を開催しました。

現場で働く組合員・社員の不安を解消し、より良い施策をつくり上げていくために行った解明交渉では「決まっていない」「現場で検討」と繰り返し、首都圏本部の方向性や考え方が示されませんでした。

「施策は労使で進める」という共通認識を反故にするものであり、地本は「誠実交渉義務違反」を通告しました。そのため、本会議では分会と統括センター発足に向けて今後の方向性について意思統一を行いました。



**不誠実交渉の是正を
求めていくことを確認！**

**安全と輸送品質を守り、顧客を重視した
統括センターを私たちの手でつくり出そう！**